



平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 石川県 】

1 実践テーマ	【 V 】										
2 実施対象者	金沢市立北鳴中学校 1年生190名 保護者 10名 2年生206名 教職員 40名 3年生179名										
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名(オリンピック・パラリンピック教育『ようい、ドン！ スクール』講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()										
4 目標 (ねらい)	石川ゆかりのオリンピックの講話を聞き、自分の目標に向かって一生懸命努力しようとする意欲を育てる。また、2020年のオリンピック・パラリンピックに生徒自身がどんな協力ができるか考える。										
5 取組内容	講師に川井梨紗子氏(リオデジャネイロオリンピック 女子スリダグリースタイル63kg級 金メダリスト・ジャパンビバレッジ所属)を招聘し、以下の内容で講演会を行った。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2">講演内容(計70分)</td> </tr> <tr> <td>① 講演「自己実現～金メダルへの道～」</td> <td style="text-align: right;">30分</td> </tr> <tr> <td>② 実技披露</td> <td style="text-align: right;">15分</td> </tr> <tr> <td>③ 質疑応答</td> <td style="text-align: right;">20分</td> </tr> <tr> <td>④ 生徒のお礼の言葉・花束贈呈</td> <td style="text-align: right;">5分</td> </tr> </table>	講演内容(計70分)		① 講演「自己実現～金メダルへの道～」	30分	② 実技披露	15分	③ 質疑応答	20分	④ 生徒のお礼の言葉・花束贈呈	5分
講演内容(計70分)											
① 講演「自己実現～金メダルへの道～」	30分										
② 実技披露	15分										
③ 質疑応答	20分										
④ 生徒のお礼の言葉・花束贈呈	5分										
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講演の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>質問に答える川井氏</p> </div> </div>										



質問している生徒



メダルをかけてもらった生徒



北国新聞 平成29年12月1日(金)

6 主な成果

- ・生徒は、本物の金メダリストを間近にし、なおかつ金メダルに至るまでの道のりを聞くことで、川井選手の努力の様子を実感することができた。
- ・川井選手のこれまでの進路選択等に関わる意思決定の様子を知ることができ、生徒にとって自分自身の将来について考える一助になった。
- ・生徒から、「努力することの大切さ」や「目標に向かってあきらめない」などの前向きな感想を多く聞くことができた。
- ・アンケート結果から、「オリンピック・パラリンピックに関わりたいですか？」の項目が、「とてもそう思う・そう思う」と答えた生徒は60%を超えた。
- ・「東京オリンピック・パラリンピックで私たちにできることは何か？」の問いかけに、「選手を応援する」「ボランティアのために英語を話せるようになる」「清掃活動を行う」「自分の夢を追いつけること」などの感想を聞くことができた。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

- ・石川ゆかりのオリンピックを講師として招聘した。
- ・講師には、実技披露の時間と質疑応答の時間を多めにとらせていただき、生徒と直接的にふれあう時間を作ってもらったようお願いした。

8 主な課題等

- ・現役選手ということもあり、講演内容(当日の動きも含めて)の調整に苦慮した。
- ・生徒に対して、講演当日に向けて講師についての周知を工夫する必要があった。

9 来年度以降の実施予定

- ・来年度、講師を招聘しての講演会は日程調整が難しいため実施が難しいと考える。
- ・今回の講演会の様子や川井選手のコメント等を生徒の目の付く場所に掲示することで、生徒の活動意欲の向上に活用していきたい。